



## 高齢者肺炎球菌ワクチン

### 対象年齢が変わります

国の経過措置終了に伴い、接種対象の年齢が65歳の方および60～64歳で、心臓・腎臓・呼吸器・免疫の機能で身体障害者手帳1級の認定を受けている方のみになります。

2023年度予診票を送付された方の中で65歳の方は、66歳の誕生日の前日まで郵送された予診票を使って一部助成による接種が受けられます。

2024年度新たに対象となる方には、65歳となった翌月の上旬を目安に予診票を郵送します。60～64歳の方には、6月下旬に予診票を郵送します。ただし、過去に助成を受けた方は対象外です。

助成額＝3,000円(接種費用が3,000円を下回る場合はその額)

## 2024年度で終了

### HPVワクチンキャッチアップ接種は2025年3月31日で終了

HPVワクチンは、子宮頸がんの原因となるHPV(ヒトパピローマウイルス)の感染を予防します。

現在、HPVワクチンの積極的な勧奨を差し控えている間に定期接種の対象であった女性を対象に、キャッチアップ接種(全額公費負担での接種)を行なっています。**2025年3月31日まで**は、公費負担で無料で接種が受けられますが、公費の接種期限を過ぎると全額自己負担となります。接種費用はワクチンの種類によりますが、3回接種した場合、計6万円～10万円前後の費用がかかります。全3回接種となりますので、接種を希望する方は早めに接種をしましょう。

対象＝1997年4月2日～2008年4月1日の間に生まれた女性

※市が発行した予診票が必要です。予診票がない方はお問い合わせください

### 男性の風しん抗体検査は2025年2月28日で終了

全国の指定医療機関で使用できるクーポン券の有効期限は、**抗体検査が2025年2月28日まで、予防接種が2025年3月31日まで**です。風しんは、成人がかかると症状が重くなることがあります。また、街中などで妊娠初期の妊婦さんに感染させると、生まれてくる赤ちゃんの目や耳、心臓に障害が起きてしまうことがあります。ご自身のためにも、次世代の子どもたちのためにも、まずは風しんの抗体があるかを調べる抗体検査を受けましょう。検査の結果、十分に抗体を保有していないことが判明した方は、予防接種を受けましょう。

対象＝1962年4月2日～1979年4月1日の間に生まれた男性

検査費用・予防接種費用＝無料

※市が発行したクーポン券が必要です。クーポン券がない方はお問い合わせください

# 各種予防接種について



問 保健予防課 Tel.0299-92-0141



## 五種混合ワクチンの定期接種化

4月1日から、四種混合(ジフテリア、百日せき、破傷風、ポリオ)ワクチンにヒブ(Hib)ワクチンを加えた五種混合ワクチンが、定期接種となります。

※すでに四種混合ワクチンとHibワクチンで接種を開始している方は、基本的に同じ種類のワクチンを使用し接種完了してください

ワクチン名	五種混合(DPT-IPV-Hib)
接種対象	接種する日の年齢が生後2カ月～7歳半未満の子
接種回数	初回接種：3回 追加接種：1回
接種時期	初回接種：前回から20日以上間隔をあける(標準的には、20日～56日) 追加接種：初回接種終了後、1年～1年半間隔をあける(最短で6カ月以上)

予診票は2カ月児の赤ちゃん訪問事業でお渡しします。すでに四種混合の予診票がお手元にある方は、そちらの予診票で五種混合ワクチンの接種ができます。



## 小児肺炎球菌ワクチン(15価)の定期接種化

4月1日から、現在使用されている沈降13価肺炎球菌結合型ワクチンが対象とする血清型に、新たに2つの血清型を加えた沈降15価肺炎球菌結合型ワクチン(バクニューバンス®)が定期接種となります。15価肺炎球菌ワクチンは、現在使用されている13価肺炎球菌ワクチンと、少なくとも同等以上の有効性が期待できると考えられています。

ワクチン名	沈降15価肺炎球菌結合型ワクチン(バクニューバンス®)
接種対象	生後2カ月～5歳未満
接種回数	4回以内(初回接種を始めた年齢によって異なります)
予防効果	肺炎・髄膜炎・中耳炎などを予防します

予診票は2カ月児の赤ちゃん訪問事業でお渡しします。すでに小児肺炎球菌の予診票がお手元にお手元にある方は、そちらの予診票で15価肺炎球菌ワクチンの接種ができます。